

省エネ施設栽培に適した「大分果研4号」

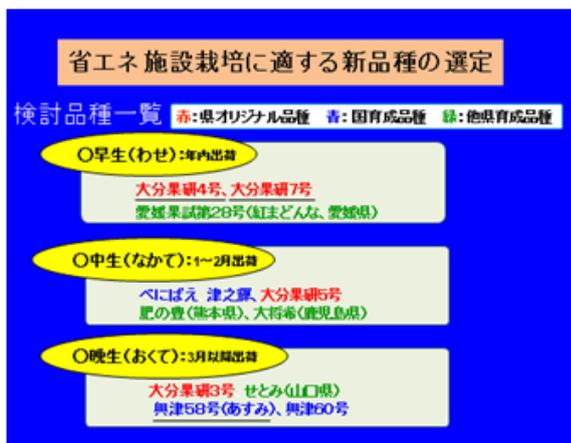
農業研究部 果樹グループ

1. 研究の背景

ハウスみかんは重油使用量が多いので他カンキツへの転換が必要となった。しかし代替品種の不知火、天草は高レベルな栽培技術が必要なうえ全国的に増加したため価格が低下している。そのため新品種の選定と技術確立が求められている。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

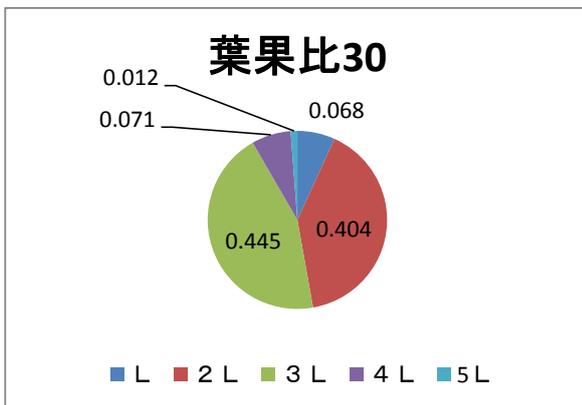
大分果研4号はゼリーのような食感があり年内収穫が可能
 2月中下旬加温の少加温で重油使用量5k1(ハウスみかんの1/4)、収量は5t/10a。
 葉果比30で2L中心の果実が生産可能。
 マルチ処理で果皮色向上。



大分果研4号

- ◇12月上旬成熟の早生カンキツ
- ◇ゼリーのような食感

検討結果



3. 期待される効果

- ・県オリジナル品種での贈答品としての高い評価
- ・ハウスみかんの代替品種としての面積拡大

4. 担当機関連絡先

果樹グループ 温州ミカンチーム
 TEL: 0978-72-0407
 住所: 国東市国東町小原4402